

宇宙通販システムの正しい使い方

求めよ さらば 与えらん

求めた事が現実を作っている 「思い」が人生を作っている。

自らの存在を喜び生きる。

動物も植物も虫たちもただ自らの存在が誇らしく、喜びの
人間だけがそれをやっていたかい...

細胞の喜びを生きる。意志ある。

頭で考える事よりも細胞達がやっている事の方が数段上手。^{うか?}
今の化学では赤血球一つ作る事ができてない。
細胞こそが宇宙とつながっている。宇宙とひとつの存在。

感覚がナビゲーター

「喜び」と生きる事が「普通」だからこそ。

頭で考えた「喜び」を超えた「細胞」からの喜びにたどり着く事には
「ワクワク」の感覚がくるし、何か一点でも異和感や迷いがある時は、結果的にうまく行かないもの。^(マヤマヤ... ん?)

せっかく持っている「感覚」に耳をすませてあげよう。

生きる事が楽になる。

選ぶ時は「異和感」があるか、感覚をのぞきこんで
あげよう。

宇宙からちゃんと見守られる愛がある。本当の喜び。細胞などの
喜びと生きることができるよう、いつでもサインを迷い続けて
くれている大きな存在に気づくことができるから。

細胞をいつもきいにして 宇宙との接触を良好にしておく。

細胞が喜ぶだと感覚が良くなる。

食べ物、洗剤、芳香剤は無添加のものを細胞の為に

選ぼう。自らと喜び生きる事の為に細胞は、いい細胞を作る。食べ物、皮フから入ってくる「洗剤」、呼吸から入ってくる芳香剤が細胞の材料に入っている事に気づこう。

全ての事が愛、だとしたら「怒り」も「悲しみ」も本来の姿は「愛」
自分に起る全ての事を喜びにしてしまう方法。

怒っていたらその心のままに「この怒りが私の喜びになる！」
と「思う」→意志入力をやる。=宇宙通貨システムに注文をする。

宇宙中心 ^{丹田} 丹田のあたりに向かって、腹筋を使って
「喜びになるじゃ!!」と強く思う。念じる。
そのとき怒りや悲しみの感覚があっても大丈夫。
自分に起きているそのままの状態、で注文はできる。

何か思うように行かない事が起った時はあきらまず
「これが私の喜びになる。」と意志入力をやる。

この時の言葉は「言せり」や「命令」で。
「お願い」は自分の中心をはずれて、「他の存在」に
行ってしまう。

あくまでもこの宇宙の主は自分 ^{ある} だけのだから
宇宙中、ありとあらゆるものを使って
自らの存在と喜び生きる事を腹くくって意志する。

宇宙本来のエネルギーは「喜び」
だとしたら「喜び」はいいだけで十分である。
実は傲慢でんだという事に気づくこと。

自分を喜び生きてこそ、人に「あなたと喜び生きる事
こそ、人も宇宙も喜び事」とメッセージを渡せる生き方。
本来のお役に立つ生き方。

細胞としての喜びの火が灯っているからこそ人にその火を
分けてあげることができる。

細胞としての喜びは人とも宇宙ともつながっている喜び。

今の自分のあつちまで「欲しい」と意志する。

いくつか方法があるから、その時の気分やケースによって試してみる。
 とにかく、小さな事も体験をする事で確認ができるので
 興味本位でも実験的にやってみて、そのうち調子に乗って
 習慣にしておいたらいいですね。

ほかか何ともかくいく人は、「思い」の力、宇宙通販システムを
 意識して生きている。「思い」というエネルギーを
 どう使うかって、それだけの事だけなんです。

- 一. とにかくやれどもに「やだよ」と感じた時は反射的に
 「これが私の喜びになる！」と意志を入れる
 これ → ケカでも悲しい思いでも腹の立った事でも。
 ケカしたら、「このケカが私の喜びになる！」
 でもいいし、その時の感覚を言葉にして
 「このトライアが私の喜びになる！」ってトライアして大丈夫だから
 「喜びにしろ??」って、激を出す。
 ついでに「全てが私の喜びになる！」もそのど意志入ると
 尚いい。

- 二. 「こうなったらうれしいですよ」が叶った時の感覚を今味わう。
 例えば宝くじで三億円当たっちゃった
 理想以上のハニーに出会ってしまった、ほかか事がうまく運んで
 思い、想い、あつちでしめがたい♡
 常日頃からうまくいなくて悩んでいた事がいきなりうまく
 行ってありがたくて仕方ない。
 ずっと治らなかつたかもしれないと苦しんでいた病気が
 あつちと完治してしまった。

もし「こうなったらうれしいですよ」が実現したとしたら
 自分はその時どう感じるだろうか。
 その感覚を、まづ自分の中から感じとして書き出してやる
 として、その感覚の一つ一つを「今味わう！」
 「今、実感ある！」と意志入るをする。

心から願う「治らないうまいなあ」から
自分の本音の「欲しい」を読み取りやすい。

例えば「病気が治らないうまいなあ」が「喜ぶこと」が
できないうまい。そして注文が入っていたりするので、余計なことが
実現してしまう。

本当にうれしい感覚を たった今味ゆと注文する。
おと、まずそこに喜びや感謝の感覚を体験できるから
病気が治らないうまい「治った」感覚を味ゆえる。
おと「治る」ことの実感ができるから、実現しやすくなる。

「最高最善の時に私の願いは叶うんだ。」と実感して
喜んでいたら、宇宙はその願いを叶えやすくなる。

そういう時に「治らないうまいかも…」とか不安な感覚が
きたら、ちゃんと受け止めて、そして「この不安が喜びになる！」
と意志していいから大丈夫。→ 自分に起った感覚を尊ぶ。

三、「やだな」と感じる事が起ったとき、自分が何を注文したから
その出来事が起ったのか、自分の注文を読み取る。

Aから意地の悪い言い方を、して、や切ないうまい気持ちになった。
という体験をした。

① 注文を読み取り 「Aは嫌な人だ」
「私はいつも人から意地悪を、する」
「人を信じないうまい」

② 注文を読み取ったから、その注文が入っていたから、と
あの体験を経験したのだという(お取り寄せしていた)事に気づく。

③ その事に気付かせてもらった事を感謝する。

④ その注文が私の喜びになる事を意志する。

⑤ あえて、その注文を「この注文に感謝して、キャンセルする」と意志入れる。
 (実はその注文が喜びになる!と意志入れた時点ですでにキャンセルされているようなものだけど、あえてキャンセルを意志あるものわりやすくっていいと思う)

⑥ 逆注文(自分にとってあ利喜びでない注文)を讀みとり感謝してしまつたら、逆注文の反対の喜びの注文をし直して、宇宙通販システムを正しく自らの喜びをとらせるために使う。

逆注文 「Aは嫌な人だ」
 本注文 「Aさんが私の喜びになる！」

逆注文 「私はいつも人から意地悪をされる」
 本注文 「私はいつも人と喜びを分かち合い、生きている！」

逆注文 「人を信じられない」
 本注文 「信頼し合う喜びを生きて！」
 「人に安心感を実感して、楽しく生きて！」

本注文は、思いつく限り、どんどん出して下さい。
 「喜び」を生きてこそ宇宙がして欲しいと望んでいる生き方。
 めいばいの喜びを生きてこそ、ほめて宇宙も自分も人も喜び調知した生き方ができるのだから。

四. 人に感じた事を讀みとる。「人は心の鏡」

どうしても苦手だと感じる人、嫌いと感じる人の、どうい所が嫌だと感じるのかを、自分の中から讀みとって書き出してゆく。
 逆に好きだと感じる人、あがいている人を感じる人の、どうい所にひかれるのか、自分の中から讀みとって書き出してゆく。

例 Bさんの嫌いなところ

品が悪いところ
 自分勝手ところ
 無能ところ
 意地の悪いところ

そうやって読みとり、書き出してゆく。

「嫌い」と感じる所は自分が同じものを持っていて、持っているのは知っているけど「持ってほしいことにしたい！」と深い所を思っていることに気づく。

その「これは許せない」と嫌うものをしっかり目の前に置いて見る。



「品が悪い」を代表する生き者は赤ちゃん。
 人前で平気でヨダレはたらかし、手巾拭きで食べ物を口いっぱいに入れて、ゴロゴロこぼす。
 でもその品を良くしてあげてあげてほしい。そのおまの姿が美しい可愛らしい。「品が悪い」も赤ちゃんの存在の素晴らしいの一部だと気づくと、「品が悪い」=「いいところ」とではなく、おまの味気をつくり、かいらしいも作る要素でもあるという事に気づく。おまを持っている自分を許す。できるようにしたらおまを持っている自分を祝福する。

「自分勝手ところ」も「無能ところ」も「意地の悪いところ」も一つ一つ思わす優しく感じるもの。(赤ちゃんや小さい子供、動物でも何でもいから)に重なるために見つめてみると実はすべてが愛すべきものという事に気づく。
 そうやって、人に見ていた実は自分に対して、「これを自分が持っている事を気付かなくもほしい。許せない！」と無意識にだけおまのエネルギーを使って裁き続けてきた労力から開放さす。自分という存在に対して信頼を持つようにしてゆく。そしてBさんに見ていた「嫌い」「許せない」

と感じていた事を どんどん見直して行くと、不思議な位
 Bさんの事が「嫌い」でたかっている自分に気付く。
 そして、自分の嫌いだと思っていた事が実は宝物だった事に
 気づかせてくれた Bさんに感謝さえできる自分に気付く。

それができない事だてある。
 その時も大丈夫。
 「それができない事が 私の喜びになる！」
 と、意志入れしておけばいい。

できてもできなくても そのあいのままを「私の存在と喜ぶ」
 注にしていけばいい。

できても  できなくても 

「好きだよ」「憧れる」と惹かれる人に感じる「好き」な所。
 自覚があってもなくても、やはり自分が持っている。
 それも一つづ書き出してみる。

さげたいやさしさ
 丁のややつ笑顔
 勇気のあるところ

「好きだよ」と感じる一つ一つ、よく見るとなんと自分も持っている。
 心に気付いたら、それを持っている自分を祝福しよう。
 「お気さげやさしさを 持って今ここに存在している。
 おおとの私を 祝福します！」
 と意志入れする。

もし、好きだと感じても自分が持っているとしても思えば、物に
 関しては、「勇気がある事を確認する！」とほどと
 意志入れしておけば、しるべき時に確認できる体験を
 持つ事ができるから安心(いい気になって)で。

「嫌い」と感じていたものが実は「宝物」だったと気付けた時も
 「自分勝手になところを持って今ここに存在している私を喜び生きる！」
 と、意志入れしてゆくと、教がどんどん入ってきていくから大丈夫。
 4

五、「お金」や「物」にどんな注文を出しているのかを読みとる

この世界で生きてゆくには「お金」は必要です。
 そして「お金」はとてつもない人の注文を読みとりやすいので
 書き出して、自分の注文を確認してみると楽しい。
 現実も注文したいで変わってゆくのでおもしろいです。

「お金」たくさん持つと人から恨まれる
 欲張ってはいけません
 私らしい生き方の邪魔をする

そういうちねと「お金の」で冷や汗が出るような「逆注文」
 に気付いたら、その注文のおかげで、人間らしい「お金に困る」
 という体験を思う存分できた事に感謝し、十分です、ありがとう。
 とキャンセルをする。

「たくさん持つと人から恨まれる」という注文のおかげで、お金に困る
 という体験をお事できました。ありがとうございます。
 もう十分です。
 この注文はキャンセルします！」

と意志入りをあげキャンセルできます。

それから正注文を宇宙通販システムに入力する。

「お金」たくさん豊かに持つ喜びを生きて
 豊かさや安心を楽しく生きる
 私らしい生き方を協力してくれる存在を歓迎する。

ゆがて注文を出して、その一つ一つを意志入りを。

「あわせ」とか、「パートナー」とか「家」とか「家族」
 そういう「お題」の一つ一つに対しての注文、読みとりを
 シェアしていくと、現実も注文したいで変化するんで
 楽しくやがたいある作業です。

六. しあわせな事や楽しい思い出した時は その時感じた感覚を
日常の「今」にも「お取り寄せ」する。

例えば 楽しい仲間と旅行に行った。帰りの車の中で「楽しかった。
あーあ、又あの楽しい、普通の生活に戻るが…」と泣いて
思ったんじゃないか?

その時「普通の生活はあの楽しい」という注文が
入っている事に気づく。感謝してキャンセルを掛けます。

せっかく楽しい思い出を味わったら、「普通の生活」でも
あの楽しい思い出を味わう!」と、注文をするのです。

大好きな彼とデートをして「しあわせ」な思い出を味わったら、
彼と一緒に過ごせた時間にも
「あのワクワクしたしあわせな思い出を今味わう!」と
注文として、普通の生活の中に、いろいろな場面に感じた
「喜び」を、どんどん「お取り寄せ」していく事をおすすめします。

人間は一生不完全。でも実はどの瞬間も完璧。

一粒の花の種。土に蒔くと芽が出て、葉が出て、
花が咲いて、実をつけて、やがて枯れてゆく。

種のDNAは花や実の情報を全て持っているけど

ここに在る●←種は、芽も出していなければ花も咲いていない

とても不完全なもの。でも実は種の時も芽を出したばかりの時も
枯れてしまった時も、完璧。

人もそう。生きて、寝返りからうてい赤ちゃんも一生寝たりの
人も、「今」のどの瞬間も完璧。

だとしたら、恨みだらけの「今」も、悲しみだらけの「今」も
味わって、祝福し、生きていたい。

宇宙通販を正しく使うコツ システム

- 子供みたいに無邪気に「欲しい！」と思う事ができれば注文の入力ができるのだけど、嫌な事に対してはぼっち本音で注文できるんだけど、心から欲しいと感じる喜びに対すると、どうしても「そんまうまくいくはずかい」って入れて逆注文も一緒に入力してしまったり、喜びに対してものすごく抵抗してしまう人もたくさんいます。

- ・抵抗している自分ごと喜び！と、意志ある。
- ・うまくいくはずがたいと感じた事が喜びに「なる」と意志する
- ・抵抗している自分の事を「抵抗しているんだね」と分かってあげて「あなたが好きを感じるってどんな事？」と自分に寄り添い付き合ってくる自分のパートナーを自分の分身としてもう一人持って、とんとん向き合ってみる。

傷ついた体験をした時はパートナーに「傷ついた。つらい。」と伝える。パートナーは「傷ついて、つらいんだね。」と寄り添い、「じゃ、この体験があなたの存在の喜びに「なる！」と意志入れますね。」と、パートナーの自分が意志入れます。

- 心配な事が起これども、注文だけで結果的に自分の喜びになる事を何度か体験すると、どんな時にも見守らなくて、働いている事に気づき、たとえとたふ生る事が不安だった人が、生きる事が楽しくなったり、いつも安心して自分の人生を信頼できるようにたふしく。

そのためには体験をたくさん持つこと。

はじめのうちは「この不安な思いが私の喜びに「なる！」と意志入れた時「私の喜びに「なる」事を実感する！」と、一緒に注文（意志）を入れておくとわかやう実感できる。

- 心配な事は何度も注文を入れていくけど喜びの注文は習慣に「なる」のはめたにしたい。薪ストーブに薪を足すように気持ちで「私は喜びを生きて！」と気付いた時意志入れます。

- 「あの人とお付き合いしたい」「あのバッグが欲しい」
「あの学校に入学したい」いろいろな願望があった時は
その人とおつき合おようになったら、どんな感覚を持つかな？
って。「分ち合う喜びを味わう」
「信頼し合える喜びを味わう」
「大切にされるしあわせを味わう」
自分の喜びの感覚を読み取り、書き出す。
そして一つ一つを注文（意志入れ）してゆく。

宇宙は自分にもたくさんのデータから、その注文の感覚を
持つことのできる「本物」を選び出し、最高最善の時に
「本物」との出会いを実現させるから、私ども宇宙が
動き出すように時「人」「物」「学校名」には執着せず
感覚だけはちゃんと注文を出す事。あとはお任せ。

- 病気、死、苦しみ、悩み、生きている、思うように行かない事が
起ってきます。
自分の心の中にも怒り、悲しみ、嫉妬、絶望、
お利好みに思えない感情が起ってきます。
とにかく、やれども「起ると全てが私の喜びになる！」
「自らの存在を喜び生きる」
これが生き物の本来の生き方。
宇宙中の全てを使って最高の細胞としての喜びを生きる。

「宇宙に在るもの、全てが愛」
どんなものも本当の正体は愛。
たとえたら怒りも、病気も…。
「この怒りが私の喜びになる」と正体と明かしてしまう。

宇宙が始まって以来、今迄起ってきた事全てを祝福し、
ただ一つ間違った事はなかった。気付くには
「自らの存在を喜び生きる」事ができてはじめてできる事。

「求めよ、それが与えらん」

「自らの存在を喜ぶこと = ^{イコール} 生きる事」

宇宙通販システムを正しく使える キヤセルフ

「全てが私の喜びになる。」

「足りている？」

「満たされている事も実感する？」

睡眠不足、お金、物が足りないと感じたとき。
「欲しいもの」がある時 意志を入れると、体調がすっきりしたり
「足りている」と感じていたのに「十分持っている事に気づいたりする。

「私の存在が喜びである？」（喜びである事を実感する？）

「私の存在を祝福する？」

モヤモヤした時、何かがあった時でも特に何も無い時でも
この注文をしておけば、自分を祝福せざるを得ない事が
起こってくる。

「ありがとウズグいます！！」

何かが起こると、余裕ができて、いろいろ考えはいらなくなる時。
と、あえがこの一言を意志を入れておけば◎◎

「この頭痛を治してほしい？」

痛いところに向かって 腹筋使って意志を入れる。
全身の細胞がその命令をきいて治すことを始める。
「痛い！」「つらい！」が注文に入っている事に気づく。
「この痛みが私の喜びになる！」でも◎◎

「自らの存在を喜び生きる」為の正しい頭脳の使い方

赤ちゃんの生きる姿勢に学ぶ

赤ちゃんは何か異和感があると、とやみで泣く。むずがる。
 あると母親は「何で泣きげんが悪いのか」ともさかし、解決する

- ・お母さんが汚れていたなら さっぱりさせてあげる
- ・おっぱいがあっていたら おっぱいをあげる
- ・ささいいサインだったら お相手をして 満たしてあげる

赤ちゃんが泣きげんが悪い時、必ず原因がある。

→ 心を「今」と生きている自分にさせて頂く。

「自分を尊び生きる」 自分な感覚を赤ちゃんを見守る方に
 ↓
 自分な感覚を いつも見守っている。
 尊びおめえと、自分の存在の 「異和感」「イヤ」「悲しみ」「が執っている」
 察に気づく。そこで始めて そういサインを感じたら原因をさかし
 人の事もしから尊ぶ事ができる... 人は自分の鏡、 解決してあげる為に「頭脳」を使う
 ↑ お母さん 最高のパートナー

学校でも幼稚園でも「自分勝手はしてはいけない」と
 「何が正しいか」「人の為にと自分がが執るものは良い子」
 「自分を抑える事ができる子がいい子」
 と教えられて、すっかり自分を抑えつづける生き方が身に付いて
 しまっていて 自分な異和感や「こわしいやー！」を感じると、
 ほど おどましいものが檻(お)から出ようとしているかのように
 あわて 押し込んでしまおうとする事に気づく。

赤ちゃんを見たら人間の本性がわかるように、人間は本来 素晴らしく、
 可愛らしく、尊く、こぼれ 宇宙全体から愛され祝福されている存在。
 私はこぼれに愛すべき私をしあわせにする為に生れた事に気づいて。
 頭脳は最高のパートナーとして「君はどうしてほしいの？」と自分から
 聞き出し、感覚を言葉に翻訳し、宇宙に注文を入力する為に使う。

悲しい、心配している、不安な感覚
 自分がイライラしているのを感じたら、それは「本来この在りたい」を
 自分の内側から読みとるというサイン。(赤ちゃんが泣いている状態)

宇宙からはいつもタイムリーに「あなたを喜び生きる為に今ココ
 このテーマを見たい。」と、人の思い、セルフ、TV... 様々な
 ものを使って、メッセージを送ってくる。

自分が不安な感覚を感じた時は母親が「おっおいかほ？
 オムツかほ？」と愛情を込めて「どうしたの？」と、その時感じている
 感覚を読みとる。→ 分かちあえる → 体験に感謝 → キャンセル → 注文

宇宙の中心が自分の中心。

宇宙の中心がセーセーしていると、フクフクしていると、ぎげんだと。

自分専用の宇宙中はぎげんにする。

ぎげんする人が「おれがいつもうまくいくのには訳がある？」

☆ 感覚は喜びを生きる為のナビに宇宙が送ってくるサイン。

フェリックスにバラにしようとしたら、本来の自分のテーマを
 はずれている時「お、軌道修正しなきゃい！」ってきたり、

「おんかうまく行くおれの時」は大切に受け止めて。

わかりにくい時は、「このぎげんの意味を教えたい！」と意志入れ

☆ 感覚が実は最優先。

この飛行機に乗りたいと会議に間に合いたい？ ともどうしても
 気がすまなくて次の日には乗りたい飛行機が落ちた。
 最後に自分を守っているのが感覚。常識、正しい、間違ってる、
 損か得か ~ べき、頭で判断お事を一度「待て」とかき止める。

「嫌い」も尊ぶ。何でも愛せようと思えばいい。

「何でも愛せよう」としたら自分から起る感覚を何れ愛せよう。

動物は毒のあるものを食べない。自分の喜びを感覚で感じる。

自分の感覚をコントロールするのは宇宙に失礼。